令和４年度　経営発達支援計画事業　報告書　［事業 NO.1］

小規模企業景気動向調査 第２四半期（R4年 7～9 月）

①業種及び地域別景気動向

業　種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外　食	旅館	理美容その他	運輸
町内	売 上 額	↗☁	↘🌂	→☁	↘🌂	→☁	↗☁	↘☁	↗⛅	↗🌂
	仕入単価	↘☂	→☂	↘☂	↘🌂	↘☂	→☂	↘☂	→🌂	→☂
	採　　算	↗🌂	↘☂	→🌂	→☂	↘☂	↘☂	→🌂	→☁	→☂
	資金繰り	→☁	→☁	→🌂	→☂	↘☂	↘☂	→☁	→☁	↗🌂
	業界の業況	↘🌂	→☂	→⛅	↘☂	↘☂	↘☂	↘🌂	↘🌂	↗🌂
北　　信		→ 不変		↗ 改善	↘ 悪化		↘ 悪化	↗ 改善		↗ 改善
県　　内		持ち直しの動きに弱さがみられる								
全　国※		-28.5↘		-20.2↗	-41.4↗		-51.3↘		-34.4↘	-34.0↘

（※　景況 DI 値で表示、＋値が大きいほど好調）

② 景気動向報道及び特記事項

≪町内≫

飲食店応援チケットの効果により売り上げは持ち直しつつある（飲食店）

県民割等支援策の効果は高い（宿泊業）

仕入単価上昇しており今後長く続くと厳しい（電気工事業）

最低賃金が大幅に上ると固定給より高くなるため雇用形態を変える必要がある（理美容業）

≪北信≫

相変わらず部材の入荷が困難で納期の延伸状態が続いている（液晶関連装置）

建設資材の値上げに続き、下請け協力会社の人件費（外注費）も上昇傾向にある（総合建設）

猛暑の影響でエアコン・冷蔵庫など夏物商品の売上が好調だ（家電小売）

コロナの感染者は増加しているが行動制限がないので土日の来店客数は多い、特に若者。（そば屋）

≪県内≫

生産は足踏みがみられる

≪全国≫

産業全体：コロナ第７波収束で売上増加も、低採算から脱却できずにいる

製 造 業：売上好調も、急激に進む円安で収支のバランスが崩れ、資金繰り計画に苦しむ

建 設 業：災害復旧需要により全 DI 大幅改善も、材料費の高騰や人手不足から不安が残る

小 売 業：コロナ第７波の収束で売上増も、採算性悪化に歯止めのかからない

サービス業：行動制限緩和で売上増加も、原材料高等で低水準が続く

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向 “すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」